

一音入魂

成田中学校
吹奏楽部

わたしたち成田中学校吹奏楽部は、部員39人。朝と放課後のほか、土日や夏休みは、ほとんど1日練習しています。

指導してくれるのは、山口健先生。『ひたむきな姿勢と行動を』とよく言われます。いつもは優しい先生ですが、時には涙を浮かべて怒ることも。とにかくとても熱い先生です。



深く響く低音を

吹奏楽部は部員の仲が良く、一人ひとりが進んでやることを見つけて積極性が特徴です。夏、暑い中で汗をかきながらの練習は大変だけど、演奏を聞いてくれた人から、よかったなどの言葉をもらってとてもうれしくなります。



明るく優しい音色を

わたしたちの目標は、賞などにはこだわらず、聞いてくれる人たちに感動を与えられるような演奏をすることです。それができれば、コンクールの成績も自然とついてく



全員の音を一つに

るはずですが、これからも、先生に教えてもらったことを忘れず、全員の音が一つになるように精一杯演奏していきたいと思えます。

3年生は、夏の吹奏楽コンクールを最後に引退ですが、3月の定期演奏会には出場します。ぜひわたしたちの『一音入魂』の演奏を聞きにき



表現力豊かに

てく
さい。

なかまと一緒(28) ●● E Mでいきいき家庭菜園

E M成田緑の会

わたしたちは、毎月第1日曜日久住公民館で、EMの勉強会や情報交換会を開き、これを活用して生ごみのリサイクル、家庭菜園や花づくりをしている仲間です。

EMとは、有益な微生物の集合体のことで、それを組み合わせて培養した液体です。そしてこの液体を米ぬかなどに混ぜると「ぼかし」と呼ばれる粉ができて



米ぬかにEMを混ぜ「ぼかし」をつくる

す。生ごみを使った堆肥づくりは、「ぼかし」を生ごみに入れて密閉できる専用のバケツで2〜3週間発酵させます。これを畑や庭に埋めると2〜4週間て土に返ります。

この堆肥を使う前は野菜の甘味が違つたんですよ。化学肥料を使わないので安心感もあります。友人からも「つくり方を学んだの」と言われるほどでした。また、発酵液を薄め鉢植えや花壇にまくと、病気がかからず、虫もつかずそして色鮮やかな花が咲きました。

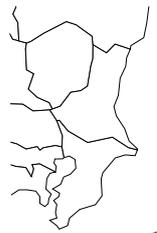


健康な暮らしを目指して

普段何気なく出してしまう生ごみ、これをリサイクルし、環境にもやさしいとなれば、まさに一石二鳥です。

市民の

夏の甲子園準優勝で 町中が大騒ぎ



小川哲さん(本城)

わたしのふるさとには福島県のいわき市です。年配のみなさんには、常磐八ワイアンセンター(現スパリゾート・ハワイアンズ)や湯本温泉でおなじみの町です。住んでいたのは、市の中心部に近い内郷(うちこう)というところで、当時は炭鉱で働く人たちの住宅がたくさんありました。ハワイアンセンターはわたしが小学3年生のときにオープン。出来たころは大変な人気で、よく両親に連れていかけてもらいました。

子どもこのころで特に印象に残っているのは、正月に父親と行った塩屋崎でのたこ揚げです。とにかく風が強くて、たこ揚げには最高の場所でした。今でこそ歌で有名なになりましたが、あのころは灯台があるくらいで、今のような観光地ではなかったですね。

野球はこちらと同じくらい盛んで



野球好きはこのころから

した。特に昭和46年、磐城高校が夏の甲子園で準優勝したときは、町中が大騒ぎ。磐城高校野球部は、子どもたちのあこがれの的でした。父は、当時同校の教師をしており、家には応援で使ったメガホンや実況放送のLPレコードなどがありました。そんな訳で迷わず磐城高校へ進学。体の大きくないわたしは卓球部に入部応援で甲子園行きを目指しました。3年生の春に母校は選抜大会で甲子園出場を果たしたのですが、自分は予備校通いで応援に行けず、くやしーい思いをしたのが忘れられません。成田に来て24年になります。小さいときから少年野球を始めた息子も中学3年。野球が縁で多くの人と知り合うことができました。これからの楽しみは、息子の応援で、甲子園へ行くことですね。



ふるさとトーク(97) 福島県いわき市



スクスクのびのび 287

山口菜摘ちゃん(4歳) 花崎町

ピアノを練習中。「きらきら星」が弾けるようになったよ。夏は花火やお祭りがあるから好きなの。成田の祇園祭では、警護をしたのよ。ディズニーランドにも行きたいな。「ピノキオの冒険旅行」に乗りたいし、デイジーに会いたいな。



ペット大好き 67



小川潤さん(中台)
ロッタ(メス)

ロッタはとてもおとなしい犬です。散歩は毎日行きますが、雨の日の散歩はあまり好きではないようです。ちょっとおく病で、人が苦手なようですが、犬同士だと仲がいいんですよ。



こんにちは赤ちゃん 84



溝口翔大ちゃん(押畑)

高梨力輝ちゃん(加良部)